

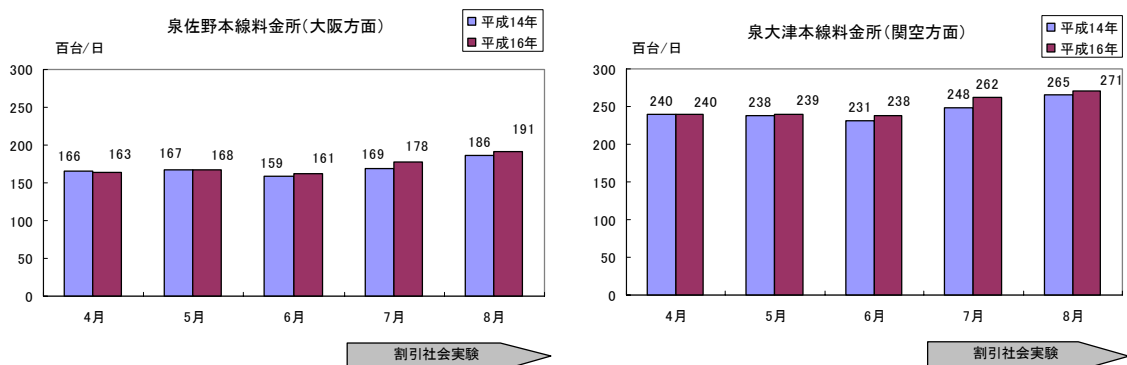
Ⅱ．関西国際空港の周辺地域における交通量等調査

(1) 有料道路の交通量の変化

1) 阪神高速湾岸線（南線）

○平成16年7月における泉佐野本線料金所通行台数は、平成14年同月比で5.3%増。また、泉大津本線料金所の通行台数は、平成14年同月比で5.6%増。

図表1 阪神高速湾岸線（南線） 月別日交通量の推移

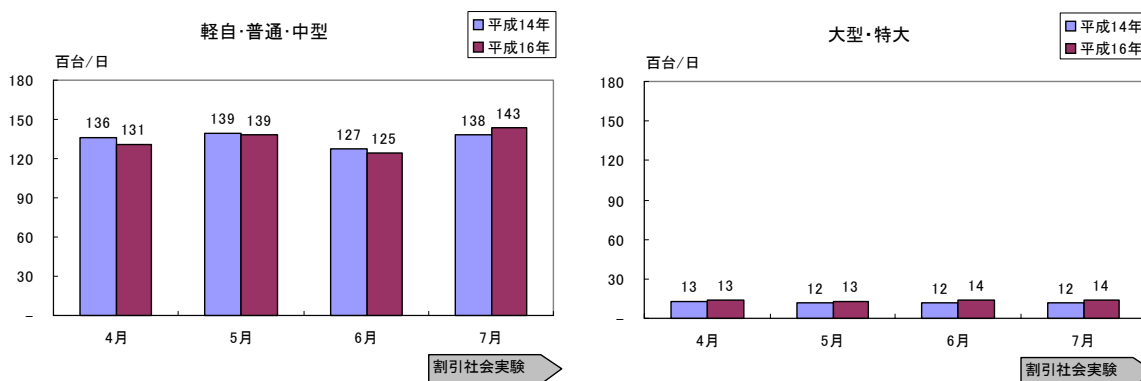


資料：阪神高速道路公団資料

2) 関西空港自動車道

○平成16年7月における関西空港自動車道（泉佐野りんくう料金所交通量）は、平成14年同月比で3.6%増（軽自・普通・中型）。

図表2 関西空港自動車道 月別日交通量の推移（泉佐野りんくう料金所）



資料：日本道路公団資料

(2) 実態調査の中間結果

関空連絡橋に直接接続する国道26号、旧国道26号(堺阪南線、泉佐野岩出線)、臨海線(大阪臨海線、泉佐野岩出線)の中では、臨海線の増加が大きい。

1) 断面交通量の変化

割引時での変化(実験前6月と7月の比較)

○平日、休日とも、北側、南側断面の臨海線で4~22 百台/12 時間増加している。(北側断面: 平日1.5%増、休日2.3%増、南側断面: 平日2.1%増、休日9.2%増)

無料時での変化(実験前6月休日と8月の比較)

○北側断面では、国道26号で23 百台/12 時間増加(6%増)、臨海線で7 百台/12 時間増加(3%増)となっており、国道26号での増加が大きい。

○南側断面では、国道26号で15 百台/12 時間増加(5%増)、臨海線で19 百台/12 時間増加(8%増)となっている。

図表3 路線別断面交通量の変化

		平日			休日				
		実験前 (H16.6.9)	実験中 (H16.7.14)	中一前	A実験前 (H16.6.13)	B実験中 (H16.7.11)	C実験中 (無料) (H16.8.28)	中一前 (B-A)	中一前 (無料) (C-A)
No1 国道26号 (泉佐野市・貝塚市境付近)	交通量	39,562	39,038	▲524	38,270	38,361	40,562	91	2,292
	大型車混入率	8.4	8.7	—	2.0	2.2	5.6	—	—
No2 堺阪南線 (泉佐野市・貝塚市境付近)	交通量	10,071	9,944	▲127	11,083	10,771	11,310	▲312	227
	大型車混入率	5.6	5.5	—	1.4	1.2	4.6	—	—
No3 大阪臨海線 (泉佐野市・貝塚市境付近)	交通量	25,282	25,673	391	25,170	25,749	25,859	579	689
	大型車混入率	22.5	21.8	—	3.6	3.7	13.5	—	—
No4 国道26号 (泉南市・田尻町境付近)	交通量	31,835	31,927	92	32,127	29,643	33,604	▲2,484	1,477
	大型車混入率	9.8	10.8	—	2.1	2.4	7.6	—	—
No5 泉佐野岩出線(臨海) (泉南市・田尻町境付近)	交通量	24,381	24,886	505	23,964	26,169	25,864	2,205	1,900
	大型車混入率	20.2	20.0	—	3.6	3.3	10.8	—	—
No6 泉佐野岩出線(旧国道) (泉南市・田尻町境付近)	交通量	11,529	10,911	▲618	11,507	11,420	11,581	▲87	74
	大型車混入率	5.9	7.1	—	1.3	1.1	4.4	—	—
No7 連絡橋料金所	交通量	7078	8187	1,109	6,132	7281	13731	1,149	7,599
	大型車混入率	12.4	11.4	—	10.0	8.2	5.3	—	—



(注) 大型車は以下のように取り扱った
 連絡橋: 大型車+特大車
 それ以外: バス+普通貨物
 (単位) 交通量: 台/12 時間
 大型車混入率: %

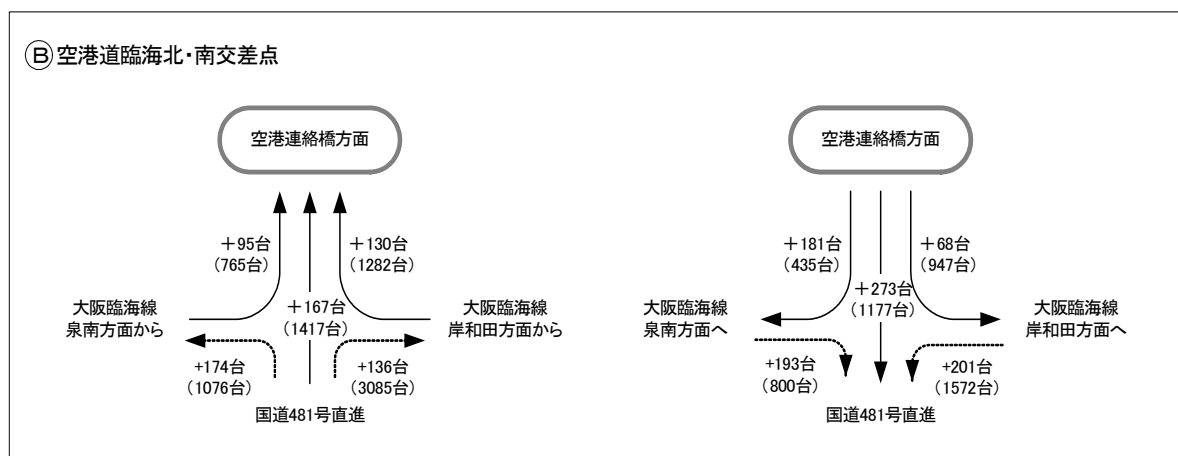
資料: 実態調査

2) 交差点交通流動の変化 (国道 481 号)

平日割引時での変化 (実験前 6 月と 7 月の比較)

○空港連絡橋方面へは国道 481 号 (167 台増、11.8%増)、臨海線岸和田方面 (130 台増、10.1%増) からの増加が大きく、空港連絡橋方面からは国道 481 号 (273 台増、23.2%増)、臨海線泉南方面 (181 台増、41.6%増) への増加が大きい。

図表 4 空港道臨海北・南交差点の増加交通量の流入方向 (平日割引時での変化)



かつこ内は実験前交通量 (6 月)

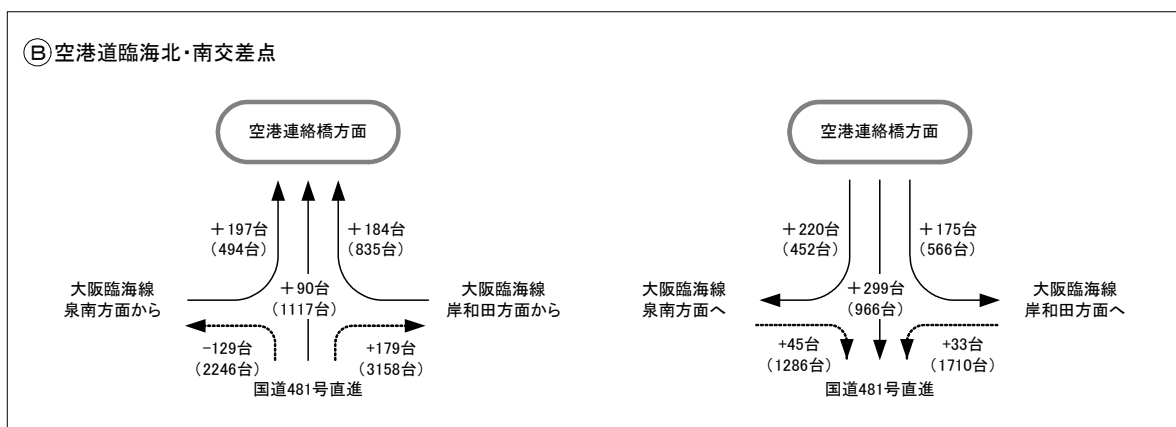
資料：実態調査

単位：台/12 時間

休日割引時での変化（実験前6月と7月の比較）

○空港連絡橋方面へは臨海線の両方面からの増加（岸和田方面：184台増、22.0%増、泉南方面：197台増、39.9%増）が大きく、空港連絡橋方面からは国道481号（299台増、31.0%）、臨海線泉南方面（220台増、48.7%増）への増加が大きい。

図表5 空港道臨海北・南交差点の増加交通量の流入方向（休日割引時での変化）



かっこ内は実験前交通量（6月）

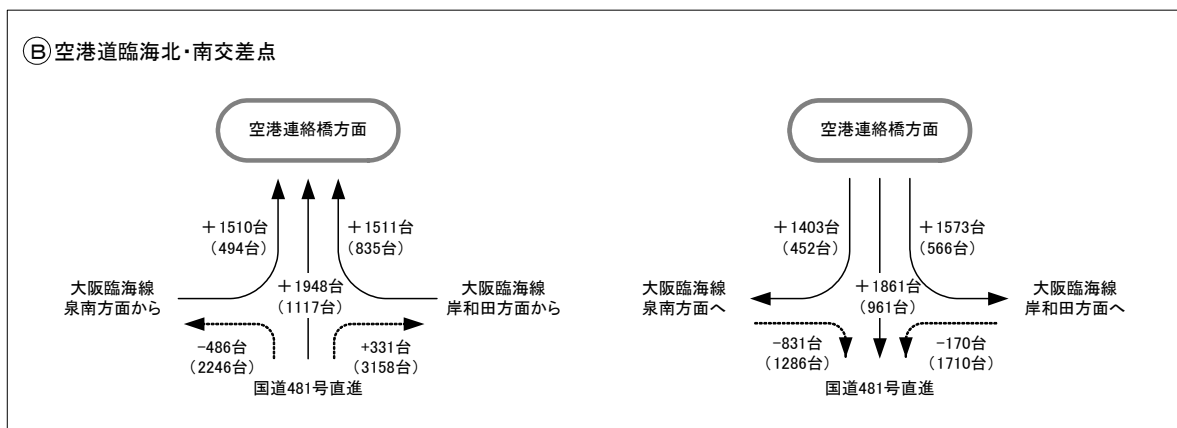
資料：実態調査

単位：台/12時間

無料時での変化（実験前6月休日と8月の比較）

○空港連絡橋方面へは国道481号（1,948台増、274%増）、臨海線岸和田方面（1,511台増、281%増）からの増加が大きく、空港連絡橋方面からは国道481号（1,861台増、294%増）、臨海線岸和田方面（1,573台増、378%増）への増加が大きい。

図表6 空港道臨海北・南交差点の増加交通量の流入方向（割引時での変化）



かっこ内は実験前交通量（6月）

資料：実態調査

単位：台/12時